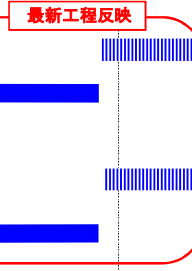


放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		11月					12月					1月			2月	3月	備考	
			25	2	9	16	23	30	6	13	下	上	中	下							
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	1. 発生量低減対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・足場材貸出による再使用	検討・設計	ガレキ減容・運搬・保管																
			(予定) ・足場材貸出による再使用	現場作業	足場材貸出による再使用													→			・2017年3月27日：足場材貸出運用開始
		固体廃棄物貯蔵庫の設置	(実績) ・運用中	検討・設計																	・2015年7月17日：実施計画変更認可申請認可
			(予定)	現場作業	運用中													→			・2018年1月：竣工 ・2018年2月：運用開始
		覆土式一時保管施設 3,4槽の設置	(実績) ・設置工事 (3槽) ・設置工事 (4槽)	検討・設計																	・2014年8月12日：安全協定に基づく事前了解
			(予定) ・設置工事 (3槽) ・設置工事 (4槽)	現場作業	設置工事													→			・減容作業開始：2018年5月24日 瓦礫運搬：2018年5月～8月3日まで 設置工事：2018年8月4日～ 2019年4月10日まで
		一時保管エリアの追設/拡張	(実績)	検討・設計																	
			(予定)	現場作業														→			・2017年6月14日：使用前検査 (エリアG12槽分) ・2017年8月9日：使用前検査 (エリアG22槽分)
	2. 保管適正化の推進	雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・処理運転 (A・B系)	現場作業	[A系] 処理運転													→			定期点検 (3ヶ月点検) [A系] ・2018年12月1日～2019年1月中旬
			(予定) ・処理運転 (A・B系)	現場作業	[B系] 処理運転													→			[B系] ・2018年12月1日～2019年1月中旬
		(実績) ・鉄骨工事 ・鉄筋コンクリート、型枠工事 ・PC (プレキャストコンクリート) 工事 ・建物付帯 (給排水衛生・電気・消防) 設備工事	検討・設計	上部躯体 (鉄骨・鉄筋コンクリート・PC) 工事													→			・2020年度下期：竣工予定 ・2017年4月11日：実施計画変更認可申請 (一部補正) ・2017年8月22日：実施計画変更認可申請 (一部補正) ・2017年11月9日：実施計画変更認可申請 (一部補正) ・2018年3月29日：実施計画変更認可申請 (一部補正) ・2018年4月19日：実施計画認可 ・2018年7月26日：第1回使用前検査「良」判定。 ・2018年11月12日：2工区エリア引渡 建築一機工事 ・2019年1月29日(火)30(水)調整中：第2回使用前検査	
		(予定) ・鉄骨工事 ・鉄筋コンクリート、型枠工事 ・PC (プレキャストコンクリート) 工事 ・建物付帯 (給排水衛生・電気・消防) 設備工事 ・主要機器搬入、据付工事	現場作業	建物付帯設備 (給排水衛生・電気・消防) 工事													→				



分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		11月					12月					1月			2月			3月			備考
			25	2	9	16	23	30	6	13	下	上	中	下	期	末								
保管管理計画	3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 	検討・設計	一時保管エリアの保管量、線量率集計					一時保管エリアの保管量、線量率集計					一時保管エリアの保管量、線量率集計						<p>線量低減対策検討</p> <p>ガレキ等の将来的な保管方法の検討</p> <p>線量低減対策検討</p>				
				現場作業	一時保管エリアの保管量確認、線量率測定					一時保管エリアの保管量確認、線量率測定					一時保管エリアの保管量確認、線量率測定									
					ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続					ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続					ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続									
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	4. 固体廃棄物の性状把握	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析（現場：JAEA東海等） 分析試料のJAEA東海・民間分析施設への輸送 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析（現場：JAEA東海等） 	検討・設計	主要機器搬入・据付工事					主要機器搬入・据付工事											<p>・これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられている http://fukushima.jaea.go.jp/initiatives/cat05/tech-info.html</p> <p>・多核種除去設備の運転状況に応じて順次試料を採取</p> <p>・分析試料の運搬：2018年12月12日</p> <p>瓦礫：4号機ボーリングコアデータ等を事務局会議にて報告：2018年11月 除染P試料、2号機屋上瓦礫等分析中</p> <p>汚染水：ALPS処理水データを事務局会議にて報告：2018年11月 建屋スラッジ等を分析中</p> <p>水処理二次廃棄物：ALPS吸着材（活性炭等）分析中</p>				
				現場作業	【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 固体廃棄物のサンプリング					【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 固体廃棄物のサンプリング					【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 固体廃棄物のサンプリング									
					輸送準備（放射能評価、計画書作成等）					輸送準備（放射能評価、計画書作成等）					輸送準備（放射能評価、計画書作成等）									
					【研究開発】JAEAにて試料の分析（現場：JAEA東海等） 瓦礫の分析等（α核種、β核種、γ核種）					【研究開発】JAEAにて試料の分析（現場：JAEA東海等） 瓦礫の分析等（α核種、β核種、γ核種）					【研究開発】JAEAにて試料の分析（現場：JAEA東海等） 瓦礫の分析等（α核種、β核種、γ核種）									
5. JAEA分析・研究施設の整備（施設管理棟、第1棟、第2棟）	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理棟建設工事 第1棟建屋現地工事 基礎工事 躯体工事 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1棟建屋現地工事 基礎工事 躯体工事 	検討・設計	躯体工事(地上1階)					躯体工事(地上1階)					躯体工事(地上1階)						<p>・2017年3月7日：JAEA分析研究施設第1棟 実施計画変更認可（原規規発第1703071号）</p> <p>・2018年2月28日：竣工（施設管理棟）</p> <p>・2018年3月15日：運用開始（施設管理棟）</p> <p>・2017年8月7日：杭工事完了</p> <p>・2018年11月15日：地上1階躯体工事開始</p>					
			現場作業	躯体工事(地上1階)					躯体工事(地上1階)					躯体工事(地上1階)										
躯体工事(地上2階)					躯体工事(地上2階)					躯体工事(地上2階)														

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.11.30 時点)

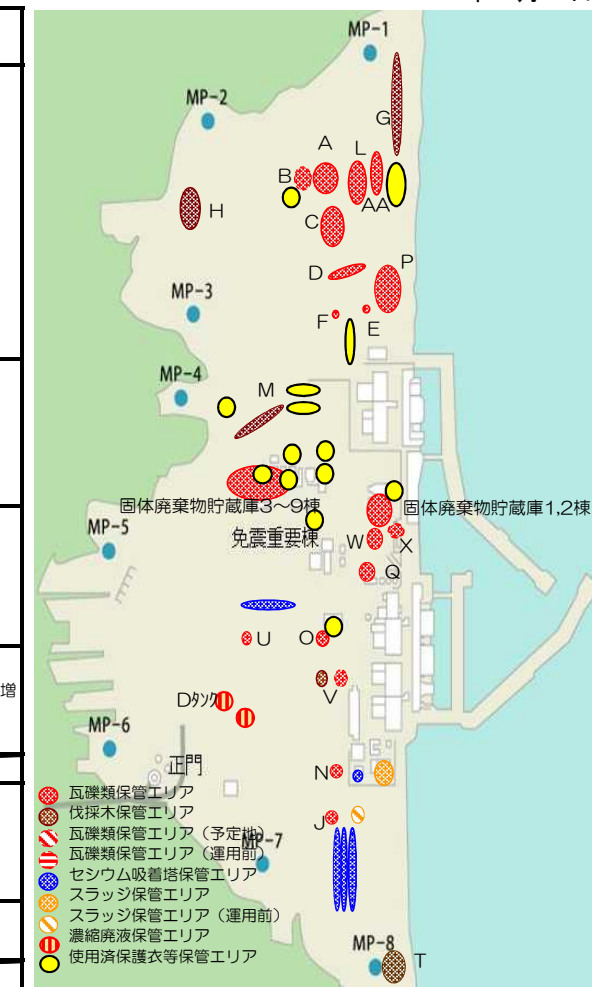
分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比 ^{※1} (2018.11.29)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} /保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,500 m ³	-200 m ³	①	77%	183600 / 250700 (73%)	・フランジタンク解体片 2018年11月末時点でコンテナ884基保管。 エリアP1コンテナ数: 654基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数: 230基 (2018年3月15日～)
	C	屋外集積	0.01未満	61,700 m ³	0 m ³	—	97%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
	J	屋外集積	0.01	4,400 m ³	+100 m ³	②	55%		
	N	屋外集積	0.01未満	4,900 m ³	0 m ³	—	49%		
	O	屋外集積	0.01未満	43,500 m ³	0 m ³	—	85%		
	P1	屋外集積	0.01未満	47,900 m ³	-300 m ³	③	75%		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100%		
	V	屋外集積	0.01	3,900 m ³	+500 m ³	④⑤⑥	65%		
AA	屋外集積	0.01未満	7,600 m ³	+800 m ³	⑥	21%			
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	38300 / 71000 (54%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)
	E1	シート養生	0.02	14,100 m ³	+100 m ³	⑦	88%		
	P2	シート養生	0.01	5,600 m ³	+100 m ³	⑥	62%		
	W	シート養生	0.03	8,100 m ³	微減	—	26%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100%	19000 / 31700 (60%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m ³)増加。 (2018年5月)
	A	仮設保管設備	0.14	1,000 m ³	0 m ³	—	15%		
	E2	容器 ^{※4}	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%		
Q	容器	0.04	1,000 m ³	0 m ³	—	17%			
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	11,700 m ³	+600 m ³	⑧⑨⑩	26%	11700 / 45600 (26%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。 (2018年2月)
合計(ガレキ)				252,400 m ³	+1,700 m ³	—	60%		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	+100 m ³	—	63%	96700 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増	—	2%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—		
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%			
合計(伐採木)				134,000 m ³	+100 m ³	—	76%		
保護衣 屋外集積	容器	0.04	51,900 m ³	-1,900 m ³	⑪	73%	51900 / 71200 (73%)	・使用済保護衣等焼却量 5261t (2018年11月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1141本 (2018年11月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				51,900 m ³	-1,900 m ³	—	73%		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※2 主な変動理由: ①一時保管エリアJへ瓦礫の移動 ②一時保管エリアBからの移動 ③一時保管エリアCへ瓦礫の移動 ④構内一般廃棄物保管 ⑤構内瓦礫保管
⑥タンク関連工事 ⑦一時保管エリアP1からの移動 ⑧1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ⑨構内所有者不明物品の受入 ⑩一時保管エリアWからの移動 ⑪焼却運搬

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



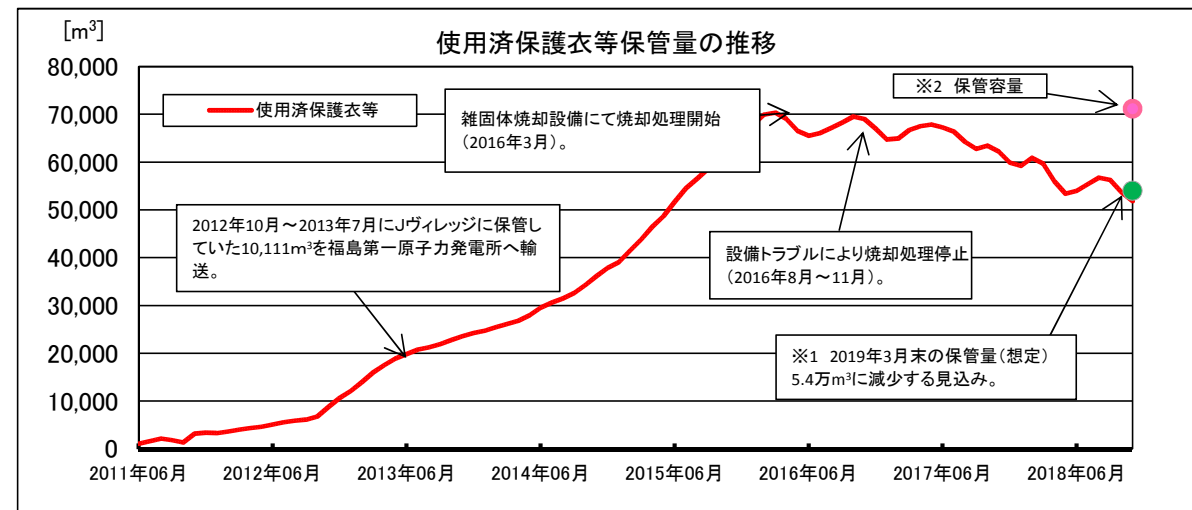
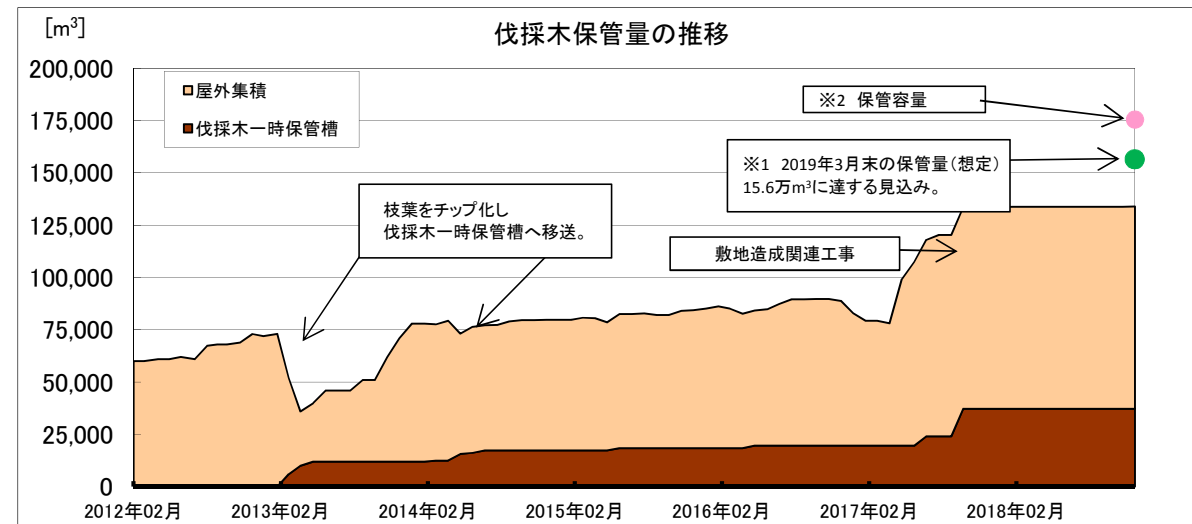
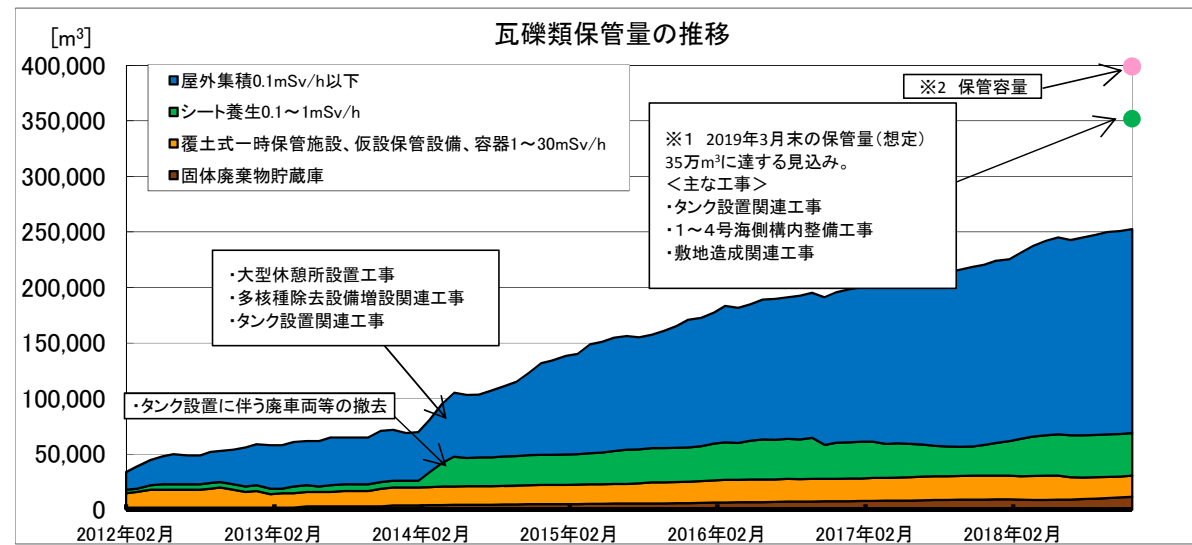
水処理二次廃棄物の管理状況(2018.12.6時点)

分類	保管場所	222222	保管量	前回報告比 (2018.11.29)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	771 本	0 本	4226 / 6372 (66%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	208 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	既設 1,574 ^{※1} 基 増設 1,385 ^{※2} 基	+23 基 +25 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能 74 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	既設 11 塔	0 塔		
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	203 本	0 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,352 m ³	-12 m ³	9352 / 10700 (87%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量: 9252 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m]	

※1: データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,574基 【誤】1,557基 (2020.3.4)

※2: データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,385基 【誤】1,402基 (2020.3.4)

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.11.30 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年3月26日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.12.6時点)

